

第292回 益田掃除に学ぶ会 お掃除通信

開催場所学校

参加者数

<p>1、代表世話人挨拶 山崎純</p> <p>今日は寒い中をありがとうございます。今日も無事開催されたことを嬉しく思っております。コロナも少し落ち着いては来ておりますが、年末年始はどうなりますか心配しております。昨年領家校長が「もの速く綺麗になりましたね」と仰った時改めてやって良かったと思いました。明日子供さんがトイレを使って喜んで頂けるように一生懸命綺麗にしたいと思います。</p>
<p>2、体験感想発表</p> <p>・奥迫 孝司さん(益田市・キヌヤ)</p> <p>今年で2回目の参加です。子供が二人お世話になっておりますので参加させて頂きました。昨年と同じ場所の掃除でしたが、多少は便器が汚れておりましたが、子供さん達がきれいに使用されていると思いました</p> <p>・杉内 直也さん(吉田小学校教諭)</p> <p>今日初めての参加です。掃除をしながら思った事は、子供達が使用する時どんな顔をして使っているのかな、また家のことを思い出しました。いつも家内に男の使い方が悪いと言われていますが、最後に床のタオルでの拭き方を教えて頂いて、そうだったのかと改めて考えさせられました</p> <p>・中西 秀之さん(鳳南市)</p> <p>排水溝を掃除しましたが、先般下関で水を完全に抜いてするようにと教えて頂き、今日リベンジしました。私の癖で色々口に出しますが中々本人さんが気付くまで待っておれないこともあり、ついつい口出ししますが、愛情と思って下さいませ。2月に生徒さんとの掃除を計画しておりますが、リーダーが必要なので都合のつく方は応援お願いします</p> <p>・松崎 純次さん(益田市)</p> <p>私も孫が3年、5年生とお世話になっております。今日は手洗いの流しを掃除させて頂きましたが、タイルの汚いところを一寸法師方式で一つ一つ磨いていきましたが、予定の三分の程度しかできませんでした。また来てやるのも嬉しくなりますので、あとは教頭先生お願いします。</p>

<p>2、体験感想発表</p> <p>・岡本 昇太さん(浜田市・キヌヤ)</p> <p>今日は久しぶりに小便器を担当しました。尿漉しを外していいのわからなかったのですが、3か所外して綺麗にしました</p> <p>・佐々木 仁寛さん(萩市)</p> <p>いつも感じますのは、益田の皆さんは穏やかだと思います。自分のことのように掃除をさせて頂くと、どこでもできますし、してやったと思うとそれが出来ません。終わって自宅に向かう時に無くなるように思います</p> <p>・中部 尚樹さん(浜田市・キヌヤ)</p> <p>今日は女子トイレを担当しました。全体的にきれいでしたが、ただ毎回黄色の便器は天敵で水際の汚れが中々取れません。こんな寒い時はお湯は本当にありがたいです</p> <p>・山崎 純さん(益田市・キヌヤ)</p> <p>今日は手洗いの流しを担当しました。尿漉しを綺麗にしたので少し手間取りました。またその尿漉しを手作りと聞いて感心しました。先生方の知恵や創意工夫を見せて頂いて感銘を受けました。</p> <p>・大谷 宏明さん(益田市・タイピック)</p> <p>今年も残り2週間となり、最後の掃除だと思って参加しました。今日はひとつひとつをしっかりと見て、仕事をしなくてはいけないことに気付かされました。5月から参加させて頂いておりますが、来年も出来る限り参加したいと思います</p> <p>・松村 範子(益田市・日の丸)</p> <p>今日初めての参加です。35年前に卒業したわが母校ですが、普段は一人では中々学校には入れないと思い参加しました。掃除の準備、掃除の仕方を色々学び考えさせられましたので、会社や自宅でも活かしていきたいと思っております</p> <p>・大庭 泰二さん(吉田小学校教諭)</p> <p>今日はありがとうございました。古いトイレなので臭いがきつく、尿漉しも工夫し、水の流し方も工夫していました。黄色の便器を担当しリーダーに綺麗になったと、褒められて嬉しくなりました。子供も一所懸命掃除をしているのでこれからは褒めてあげたいと思っております</p>

<p>4、鶴山秀三郎相談役 一日一話より抜粋</p> <p>・道徳心の脱き方</p> <p>道徳心の低下が問題になり、多くの人によって議論がされております。ところは結果は、ますます悪くなる一方です。なぜか。議論する人に行動が伴っていないからだと思えます。行動の伴わない言葉には説得力がありません。道徳は言葉で解くものではありません。説く人が自らの生き方によって示し伝えていくものです。</p> <p>・余裕のある掃除</p> <p>会社に余裕があるから掃除ばかりしておるんだ、と言われることがあります。確かに今でこそ、それほど資金に追われるようなことはなくなりました。しかし、かつての当社は銀行に日参する資金繰り状態でした。決して会社に余裕が出来てから始めた掃除ではないんです。苦しい時から始めたからこそ、現在の当社があると思っております。</p> <p>5、森信三先生の教え</p> <p>一語千鈞より</p> <p>・往相はやがて還相に転げねばならぬ。そして還相の極みは、施であり奉仕である</p> <p>・自分の最も尊敬している偉人の伝記は、精しく調べていて、自在に実例が出るようであれば信の力とはなりにくい</p> <p>・全ての物事には基礎蓄積大切である。そしてそれは、ひとり金銭上の事柄のみでなく、信用に關しても同じことが言えます。否、この方がはるかに重大です。</p> <p>・人間は、進歩か退歩か何れかであって、その中間はない。現状維持と思うのは、じつは退歩している証拠である。</p> <p>6・平澤 興先生語録より</p> <p>平澤 興 一日一言より</p> <p>・「吉凶はひとにありて日にあらず」兼好法師のことばであります。吉凶などというのは人間の方に問題があるのであって、その日がいいとか悪いとかということではないんだということであります</p> <p>・今が楽しい。今がありがたい。今が喜びである。それが習慣となり、天性となるような生き方こそ最高です。</p> <p>・努力することの本当の意味は人に勝つということではなく、天から与えられた能力をどこまで発揮させるかにある</p> <p>・どんな場合にも、笑顔で貫き通せるようになれば、それは信仰者の一つの姿を具体的に身につけたと言える</p>
